



桐花

大槌町立吉里吉里学園
小学部 通信 No13
令和5年10月24日
文責 藤井

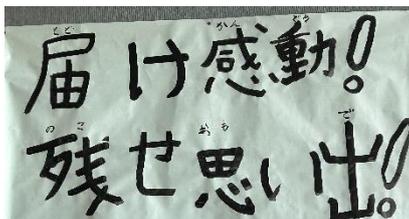
吉里吉里学園小学部の校報「桐花」は右のQRコードを読むことによってカラー版をご覧いただけます。(大槌応援団サイトへ) →



感動 小中合同文化祭

10月21日(土)、吉里吉里学園小学部・中学部合同の「小中合同文化祭」が通常開催で行われました。この合同文化祭は小中一貫教育校としての取組で、今年度初めての開催となります。昨年度から開催の予定でしたが、コロナ感染症拡大防止のため、小中で別開催となっておりました。今年度は念願の合同開催を行うことが出来ました。今年度小中連携のテーマ「進」のもと、小学部では「届け感動!残せ思い出!」というスローガンを児童会が掲げ、練習に取り組んできました。

当日は、小中合同での郷土芸能発表・合唱や、小学部低学年による劇、小学部高学年による合唱と群読、中学部による弁論発表・ふるさと科の発表等を、保護者や地域の方々に披露することが出来ました。当日に至るまで子ども達は感動を届けたいという一心で練習に取り組んできました。子ども達や先生方が吉里吉里学園としてのまとまりを見せ取り組めたことが大きな財産となりました。また、発表に際し郷土芸能の指導にあたってくださった「大神楽保存会」の皆様には感謝申し上げます。



R5 小学部テーマ



1・2年生は劇「どろぼう学校」を演じました



小中学部合同制作モザイク壁画 (ペン画)

小学部と中学部が互いに協力し合う姿に、小中一貫教育の良さを感じました。文化祭のフィナーレは小中合同で「学校坂道」を合唱し、第一回小中合同文化祭を終えました。



4-5-6年生は朗読と合唱で美しい声を響かせました



大神楽ではその歴史について保存会会長の平野さんからお話をいただきました。

1・2年生 酪農出前教室



10月13日（金）

1・2年生が JA 全農岩手と不二家乳業のご協力をいただき、酪農出前授業が行われました。

乳牛の勉強をしたり、牛乳の試飲を行ったりしました。子ども達は乳牛にも様々な種類があることや、スーパー等で国産牛肉として販売されている肉は大部分が乳牛のオスの肉であることを学びました。

その後、不二家乳業の職員の方から教えていただきながら、生クリームから作るバターづくりに挑戦しました。パンに塗って自分たちが作ったバターに舌鼓を打ちました。バターは家庭で作る場合は、生クリームから作ることや牛乳からは作れないことを学びました。家でも作ってみたいという感想を話している子もいました。身近な乳製品について詳しく学ぶ機会となりました。

4年生 歯の健康づくり講座

10月16日（月）

4年生対象で「歯の健康づくり講座」が行われました。

この講座は「お口の恋人 LOTTE」が主催している事業で、本校の佐藤養護教諭が申し込んで実現しました。

日本歯科大学の「一宮頼子先生」を講師に迎え、「むし歯を作らないためにどうすればよいか」について学びました。

一宮先生からは、むし歯の原因となる「ミュータンス菌」がどのように繁殖するかを分かりやすく説明していただきました。

キシリトール入りのガムを噛み、日頃の噛み方について考える時間をいただき、歯みがきの他にも、食べる時はよく噛むことが大切（カミング30運動）であることや、おやつやジュースの「ちょっと飲みやちょっと食べ」をなるべく減らし、食べる回数を減らす事が大切であることを学ぶことが出来ました。



第28回「いわてユネスコ賞」受賞～吉里吉里鹿子踊の伝承活動～



いわてユネスコ賞は教育や科学、文化の発展を目的に他の模範となる特別活動を行っている団体学校等をたたえる賞として平成8年から実施しています。今回昭和48年より本校の伝統芸能伝承活動として取り組んできた功績が評価され受賞に至りました。現在吉里吉里学園では小中一貫教育における教育活動として大神楽・虎舞・鹿子踊の伝統芸能の継承に取り組んでおります。今回の受賞を機に、吉里吉里学園独自の活動である「小中合同による3つの郷土芸能伝承活動」を継続させ、新たに他の地域の模範となるよう精進して参ります。各団体保存会の皆様に御礼申し上げます